

学校教育は学校内外の社会生活の経験に基づき、人間相互の関係について正しい理解と協同、自主および自律の精神を養成することは論をまたない。

どのような困難に遭遇しても現実に流されたり、その目標を見失うことなく、心身ともに健康な人間を育てる方法を具体化すべきであろう。

今後は、社会について広く深い理解と健全なる批判力を養い、個性の確立につとめ社会において果たさなければならない使命を自覚させ、現代の社会に適応し実践力のある有為な人間として育つことがのぞまれよう。そして学校における社会の成果をさらに発展拡充させて、英知に基づく豊かな情操、公正な判断力を培っていくことが、た

いせつなことではなかろうか。





II 性文化への反応

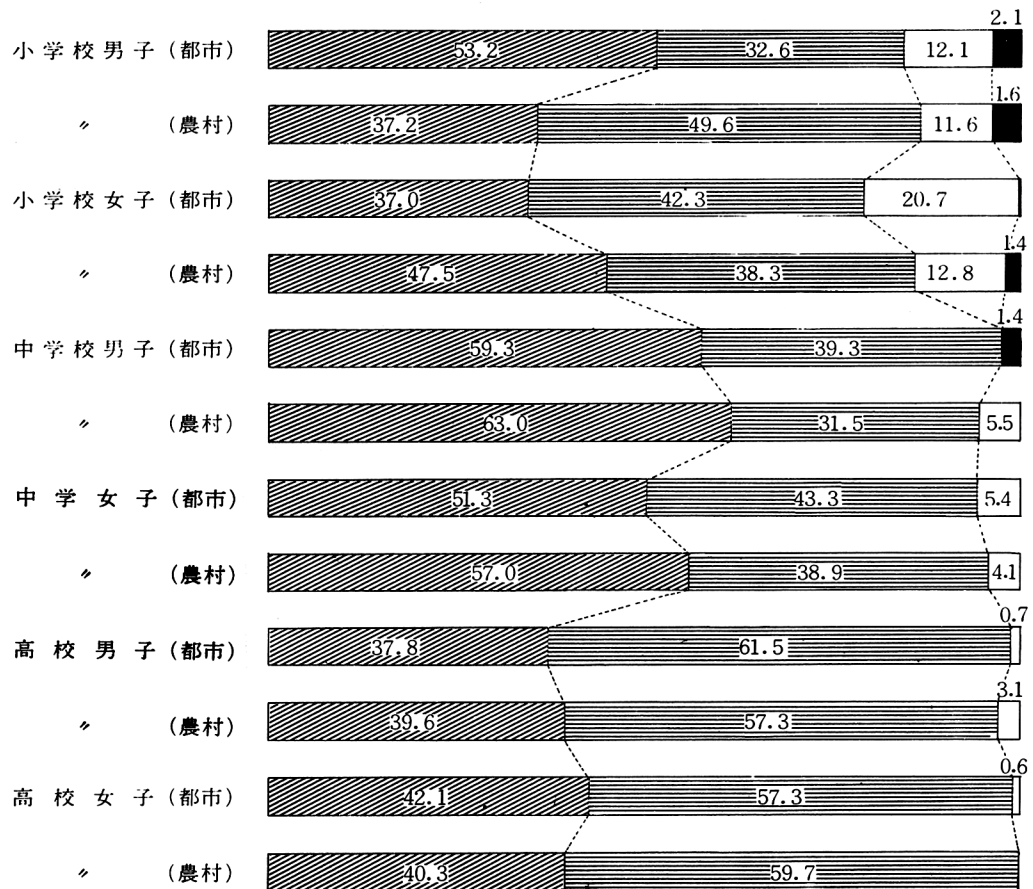
現在の子供たちは、テレビ、雑誌、映画、絵などで、アベック、キッス、ヌードのシーンを見ることが多いが、見たときは、なんとも感じないか、いいなと思うか、エッチだと思うかの3点のうちどれかを聞きただしてみる。

1 アベック、キッス、ヌードのシーンに対する感じ方

—ア. 手をつないでいるところ—

— 手をつないでいるアベック —

なんとも思わない 、楽しそうだと思う 、エッチだと思う 、その他 



手をつないでいるアベックをみて、なんとも思わないというのが、小学校男子(都市)の53.2%、

中学校男子(都市)59.3%から、中学校男子(農村)63.0%、中学校女子(農村)57.0%と上昇度合を示